



第195号

発行者  
社会福祉法人  
長野市身体障害者福祉協会  
理事長 小林和夫  
〒380-0904  
長野市大字鶴賀276-10  
(長野市障害者福祉センター内)  
電話 228-3014  
フакシ 226-6263

# 令和二年度 活動方針、事業計画 及び予算 承認される

3月12日、障害者福祉センターで開催した理事会において、令和2年度活動方針、事業計画及び予算について審議いただき、全員の賛成により承認されました。

その内容は、次のとおりです。

(以下、抜粋)

## ◎活動方針

今年、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(「障害者差別解消法」)が平成28年4月に施行されてから5年目となります。

この法律においては、障害者に対する「合理的配慮」を規定しており、国や自治体に「責務(義務)」を課しています。しかし、事業者には単に「努力義務」とするに留めています。同法の目的である、「全ての国民が、人格と個性を尊重し合いながら共生

する社会の実現」の促進をより強化するためにも、私たちは事業者に対する同規定の義務化の必要性を切実に訴えてきました。

同法には、3年後の見直しが定められており、昨年がその年にあたります。

また、私たちは長年にわたり、長野県に対して「障害者を差別することを禁止する条例」の制定を要望してきました。

この要望はなかなか受け入れられずに年月を重ねてきましたが、平成30年度末に、長野県知事から「平成31(令和元)年度に条例の策定作業に着手する」との回答を得ました。

本年度は、この「長野県障がい者共生社会づくり条例(仮称)」が施行され、障害者の差別の解消に向けた具体的な取り組みが期待されます。

この条例の内容を良く理解しその動向に常に関心を寄せ、啓発活動に力を入れなければなりません。

また、具体的な差別事例の収集もこれまで同様に継続し、必要な意見の発信に心がける必要があります。

今年度は、これら「障害者差別解消法」の見直しと「長野県障がい者共生社会づくり条例(仮称)」の動向に最大の関心を持って、活動していきます。

## S 事業計画概要

### 1 組織体制の強化・充実

支部活動は協会活動の原点といえます。支部組織も高齢化や役員の確保が難しいなど喫緊の課題を抱えております。経営組織のガバナンス強化のため、協会役員等人材の活用による組織体制の整備を進めます。

引き続きホームページ等で各種行事・事業等を紹介するなど、協会のPR活動に努めます。

また、センター事業との連携により、会員であることに誇りと自覚が持てる魅力ある協会となるよう研究します。

### 2 障害者福祉増進のための諸活動

(1) 「長野市障害者基本計画」に盛り込まれた各事業の進捗状況を注視するとともに、各事業の目標達成のために必要な意見や提言を行います。

(2) 福祉大会、研修会をはじめ各種事業を開催し、会員の知識の向上を図るとともに会員の親睦や交流の輪を拡大します。

(3) 協会の健全な管理、運営に努めます。

### 3 啓発活動の推進

(1) 会報「幸わせ」に障害者福祉に関するニュースや協会の事業を掲載し、情報の提供に努めます。

紙面の内容を充実させ、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに心がけます。

(2) 会報「幸わせ」を録音した「声の会報」を、希望する視覚障害者の会員に配布します。

試行として、点字翻訳版を作成し、希望者に配布します。

(3) 協会のパンフレット・支部単独作成パンフレット等を活用し、会員の新規加入を呼びかけます。

**4 障害者福祉センター運営事業**

長野市障害者福祉センターの指定管理を当協会が受託（H28～R2年度）しており、適切な維持管理、利便性の向上、教室・講座の充実、利用団体のPRを推進し、利用率の向上及びボランティア育成と支援に努めます。

障害者の孤立防止を図るため、長野市中心身障害者相談員に協力をいただき、「障害者相談会（ピアカウンセリング）」を月1回開催します。

「広報ながの」を録音した「声の広報」を、希望する視覚障害者に配布します。

指定管理の期間満了のため、次の受託に向け必要な手続きを行います。

**5 主な活動内容**

**(1) 大会参加関係**

（福）長野県身体障害者福祉協会主催（会場：志賀高原総合会館98）の「第71回長野県身体障害者福祉大会（社会参加推進大会）」に参加します。

また、当協会主催「第52回長野市身体障害者福祉大会」を開催します。

**(2) 支部活動関係**

各支部が開催する「研修事業」に事業助成金を交付するとともに、支部活動に対して助言等を行います。また、年末には、重度障害者に対する慰問品の配付を行います。

**(3) 研修関係**

会員の健康管理のために必要な知識の習得や体験交流の場の提供として、（福）長野県身体障害者福祉協会の事業費補助を受け「健康教室」を年2回開催します。

「長野市身体障害者福祉大会」において、会員の見聞を広めるため講演会を開催します。

**令和2年度 主な行事予定**

月	日(曜日)	事業内容	開催場所、内容
5	21(木)	監査	
	24(日)	長野市障害者スポーツ大会	長野運動公園総合運動場
	28(木)	理事会①	令和元年度事業報告・決算等
6	4(木)	マレットゴルフ大会	犀川第二運動場
	18(木)	定時評議員会	令和元年度事業報告・決算等
	25(木)	健康教室①	
		支部長研修会① 支部長会①	障害者福祉センター
7	16(木)	希望の旅	(目的地未定)
	22(水)		
9	10(木)	長野県身体障害者福祉大会(第71回)	志賀高原総合会館98
10	3(土)	長野市身体障害者福祉大会(第52回)	障害者福祉センター
	21(水)～22(木)	親睦旅行(1泊2日)	(目的地未定)
11	12(木)	健康教室② 支部長会②	障害者福祉センター
	19(木)	理事会②	
12	13(日)	クリスマスの集い	障害者福祉センター
1	14(木)	新春のつどい	メルパルクNAGANO
2	14(日)	ニューススポーツ競技会と歌声広場	障害者福祉センター
	25(木)～26(金)	会員・家族合同慰安会(1泊2日)	ホテル圓山荘
3	11(木)	理事会③	令和3年度事業計画・予算
	18(木)	支部長研修会②	
		支部長会③	令和3年度事業計画

※ 中止または日程が変更となる場合があります。

**令和2年度 法人本部事業会計予算**

(単位：円)

区分	科目	2年度予算額	前年度予算額	増減	
収入	会費	230,000	236,000	-6,000	
	余暇活動支援事業	90,000	82,500	7,500	
	広報活動事業	100,000	100,000	0	
	健康教室事業	25,000	25,000	0	
	受取利息配当金	500	500	0	
	雑収入	29,500	23,000	6,500	
	事業区分間繰入金	5,625,000	4,650,000	975,000	
	合計	6,100,000	5,117,000	983,000	
	支出	人件費支出	2,435,088	1,734,400	700,688
		事業費(助成金)	1,456,000	1,507,340	-51,340
大会参加		277,000	347,840	-70,840	
部会活動		193,000	193,000	0	
支部活動		98,500	117,000	-18,500	
本部活動		545,000	503,500	41,500	
研修		342,500	346,000	-3,500	
事務費支出		2,208,912	1,875,260	333,652	
旅費交通費		338,900	339,000	-100	
広報費		300,000	300,000	0	
諸会費	553,400	662,400	-109,000		
その他	1,016,612	573,860	442,752		
合計	6,100,000	5,117,000	983,000		

この会報は、共同募金からの助成で発行しています。

「新春のつどい」において各種文化芸能や時事問題に触れる場として「研修会」を開催します。また、会員相互の交流を深めるため、「新年祝賀式」を併せて開催します。支部会員への情報提供や啓発の一助とするため、年2回程度「支部長研修会」を開催します。

## 6 収益事業

### (1) 福祉補助事業

主な収入は自動販売機の設置に係る受入手数料で、前年度予算比2%減の4,000千円を見込みます。支出は支払手数料や使用料など2,408千円で収支差額は2,856千円を見込みます。

その他の支出で本部会計に5,625千円を繰出し、本部事業の活動費に充てます。収支差額の不足分は繰越利益剰余金で補填します。

### (2) ローソン長野市民病院店販売事業

売上高を前年度予算とほぼ同額の124,618千円を見込みます。支出では人件費の増額に対し一般管理費は経費節減に努め、経常利益を290千円見込みます。

## 新春のつどい

1月10日、メルパルクNAGANOに会員80余名が集い、9名のご来賓を迎え、令和最初の「新春のつどい」を1階ホールにおいて開催しました。

午前の部では「ハローウ・オ・ホクレア飯綱高原」9名の皆さんによるフラダンスと、「長野マジッククラブ」のお二人によるマジックショーの競演に心躍らせました。

午後の部の新年祝賀会では、せり上がるステージからの理事長あいさつの後、樋口博長野市副市長、小泉栄正長野市議会議長からごあいさつをいただき、寺田裕明長野市社会福祉協議会会長の乾杯のご発声で開宴。懇親を深めた午後ひと時でした。



## ニユースポーツ競技会と歌声広場

女性部 丸山登志子

2月16日、青年部との共催により障害者福祉センターで開催しました。参加者は18名でポッチャ、スカットボール、輪なげを楽しみました。

パラリンピックの競技であるポッチャは、競技を進めるうちにボールの感触やコツも少しわかり、一投毎にため息や歓声で盛り上がりました。午後は12名の参加で歌声広場。浅川美士子先生のエレクトーン伴奏で唱歌、童謡、懐メロを大きな口を開けて合唱。心身共にリフレッシュした一日でした。



## 会員・家族合同慰安会

準備万端、あとは当日を待つだけでしたが、残念ながら「新型コロナウイルス」の感染者が長野県内で確認されたため、中止にしました。参加を楽しみにされていた皆様には、大変申し訳ありませんでした。

縁側から語りつく

## 「縁が和リレ」

### 初めての競泳大会

大豆島支部 河瀬 禮子

毎年開催される「長野市身体障害者スポーツ大会」で私は、今までは応援とパン食い競争・スポーツ体験の出場だけでした。

二〇一九年の大会は平泳ぎに出場するため、週一回50分だけですが練習をしました。大会当日、若い方々は目標を持ち「ようし、記録を出そう。完泳だ!」。とても明るく意欲があり、私も何とか25mを完泳した気持ちでした。若い方の泳ぎはともはつらつで、自分は大丈夫かなと心配になりました。自分達の番が来ました。何とか向こうの壁にタッチしよう。さあスタートです。相手は早くどんどん離れ、私はなかなか前に進まず、何とか追いつこうとあせります。すると足がプールの床に着いてしまい：ああ残念大変です。失格です。でも楽しかったです。二〇二〇年の大会では他の種目に挑戦してみよう。日々の練習と努力が大事ですね。「またがんばろう」という気持ちになりました。

